

集会案内

日曜日

礼拝 : 2:00pm-2:45pm

教会住所

c/o Grace Hills Church
24521 Moulton Pkwy
Aliso Viejo, CA 92637
中庭の小さいチャペル

地図



ホームページ

www.irvinenihongokyokai.org

榎原宣行牧師

電話(714)827-6244

Eメール : nobu@occc.org

杉村宰牧師

電話 (714)527-1456

Eメール:sugimura1950@gmail.com

民族浄化の名のもとに突如起こつた惨事は、國中で繰り広げられ、あまりの危険に國連軍は撤退。今では、慘殺された人々の数が八十万人とも百万人とも言われています。ナタを手に、隣家のツチ族がツチ族一家を老人から妊婦、赤ちゃんに至るまで皆殺しにするという地獄絵が繰り広げられました。國中に死臭が漂い、野犬が死体に群がりました。そんな中で、ミッショングスクールに通う一人のツチ族の女性イマキユレーが、迫害する側のツチ族の牧師宅に身を隠します。女性六名（後に八名）で、小さなシャワールームに三か月も息を殺して身を潜めたのです。壁に背を当てひざを折つて座り、その上に小柄の女性がさらに座つたそうです。外で繰り広げられる殺りくのニュースを聞き、彼女は湧き起こる憎しみの感情に苦しみ、ついにはかくまつてくれた牧師にまでその念を抱くのでした。両親や兄、弟までもが殺害されたのですから無理もありません。けれども、クリスチヤンであつた彼女は、極限状態の中で聖書の差し入れを懇願、みことばにすがり、必死に祈ります。そして、いよいよ隠れ家が発覚すると思われた直前、目の前のドア一面に十字架がまばゆく光輝きます。それがあたかも太陽光線の炎熱のようで、その十字架から発せられる光とぬくもりが彼女を包み、彼女は確信するのでした。主が嚴（いわお）となつて必ず守つてくださると。事実、その後は奇蹟的にフランス軍に助けられ、後に国連でイリバギザ基金を創設し、各地で虐殺を免れて生き延びた人々をケアする働きに携わるようになります。『順風よし逆境もまたよし』

佐藤彰著

ダマスコ途上でパウロに現れた主イエスは、太陽の光のように輝いていた。その出会いがパウロを一変させ、クリスチヤン迫害者から福音の伝道者に変えたのであつた。「あなたのみ言葉はわが足のともしび、わが道の光です」（詩篇一九・10）とある。この暗黒の世にあって、主の光こそ希望ではなかろうか。それを確実なものとするためにも、聖書のお言葉におすがりしようではな

い。
Rev. Tsukasa Sugimura

◎石叫 ■

今回は、約十五年前、アフリカのルワンダにて、ツチ族によるツチ族大虐殺の中を奇蹟的に生き延びた熱心なカトリックのクリスチヤン女性、イマキユレー・イリバギザの壮絶な体験の記録です（『生かされて』・P.H.P研究所より）。

「命の極限で」①